

## トピックス

「第15回医薬品産業労使懇話会」が7月27日（金）に、製薬協会議室において、今年も開催されました。製薬協と医薬品産業労働組合連盟（医薬品連盟）は、医薬品産業発展のために、労使共通のテーマについて、相互の立場からの政策提言に資することを目指して、1994年から労使懇話会を毎年開催してきました。医薬品連盟の組織変更のために、2003年、2004年の2年間は開催が見送られましたが、一昨年の再開以来、毎年この時期の開催が定着しました。

医薬品連盟からは、高橋会長ほか役員19名が出席し、製薬協からは、市川理事長ほか事務局役員・関係部長、関係委員会委員長、企画政策会議委員代表および医薬産業政策研究所の高橋所長ほか研究員の18名が出席しました。

今年、「革新的創薬のための官民対話」が実現し、厚生労働省・経済産業省・文部科学省の三省合同で「革新的医薬品・医療機器創出のための5か年戦略」が策定され、産業側の提言がそれに盛り込まれました。研究開発促進と新薬の価値が適切に評価される新しい薬価制度の実現に向かって、官民による具体的な施策の取り組みが期待されています。本年1月の第1回官民対話の直前に、医薬品連盟も、「医薬品産業の将来と官民対話における議論の方向性」というテーマで、政策シンポジウムを開催しましたが、今回の懇話会は会議次第の通り、医薬品産業政策への両者の取り組みを中心テーマに据えて、それぞれ

の報告を基に積極的な意見交換が行われました。わが国の医薬品産業をめぐる互いの政策提言の実現に向けて、問題意識を共有し、論議を相互に深めることは大変意義深いことです。

また、昨年の懇話会において、医薬品連盟から問題提起のあった「女性MRの定着率の向上」と「臨床開発職の長時間労働の改善」に関しては、両者の認識を深めるために本懇話会に先行して、それぞれの幹部が出席して意見交換会を開催しましたが、今後も、このような問題の解決のために話し合いを継続していくことを互いに確認いたしました。



会場風景

## 第15回 医薬品産業労使懇話会 会議次第

### 【開 会】

挨拶	医薬品産業労働組合連盟	会 長	高橋 俊之
挨拶	日本製薬工業協会	理事長	市川 和孝

### 【最近の活動紹介】

○医薬品連盟の最近の活動紹介	医薬品連盟 事務局長	楢本 雅史
○製薬協の最近の活動紹介	製薬協 事務局長	是枝 義維

### 【医薬品産業政策の取り組みについて】

○医薬品連盟 産業政策委員会の活動について	医薬品連盟 幹 事	杉浦 朗
○ICEM化学産業部会世界会議報告	医薬品連盟 副会長	大場 久義

### 【医薬品産業政策の取り組みについて】

○「革新的創薬のための官民対話」について		
・研究開発促進について	製薬協医療政策部長	仲谷 博明
・新しい薬価制度について	製薬協流通適正化委員長	禰宜 寛治
○「製薬産業の将来像」		
～2015年に向けた産業の使命と課題～について	製薬協 政策研	笹林 幹生

### 【その他の主要課題について】

○ 医薬品連盟活動報告		
・ 営業委員会活動報告について	医薬品連盟 幹事	清水 健一郎
・ 研究開発委員活動報告について	//	相川 仁
・ 生産委員会活動報告について	//	松下田 幸治

### <質疑・意見交換>

○プロモーションコード遵守への取り組みについて	製薬協プロモーションコード委員長	向田 孝義
-------------------------	------------------	-------



開会挨拶に立つ高橋医薬品連盟会長、  
右は北野副会長



懇親会で挨拶する  
青木製薬協会会長



懇談中の市川製薬協理事長（左）と  
楢本医薬品連盟事務局長（右）

会議後の懇親会に出席いただいた青木製薬協会会長からは、製薬協は新薬開発型企業の団体として、わが国のイノベーションを促進する仕組みづくりとその成果が適切に評価される制度改革に向かって邁進しているところだが、このような時に、労働組合幹部と一堂に会し、産業をめぐる課題について認識を共有し、互いの政策提言につなげる活動を継続していることに対して、力強い支援の挨拶がありました。その後、北野医薬品連盟副会長の挨拶で閉会するまで、率直な意見交換をすることができました。

（事務局長 是枝義維）